事例No.	1858
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	千葉県袖ケ浦市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・適切な資産管理 ・（公会計）業務の効率化

事例種類	会計適用

事例内容・タイトル

委託業者を活用した下水道事業の会計統合

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【千葉県袖ケ浦市】
委託業者を活用した下水道事業の会計統合（財務適用）

会計適用 **下水道事業**

千葉県袖ケ浦市都市建設部下水対策課

● 取組の概要

料金改定等による収入の増加を目指すため、公営企業会計へ移行し、会計を一本化した。

◆総事業費　委託料　50,285千円

◆背景

- 市の一般財源に依存し、基準外繰入金が過大であり、経営成績を明確にし、一般財源に頼らない経営基盤を整備する必要があった。
- これらの課題を解決するため、公営企業会計に移行した。

◆具体的内容

- 経営成績及び財政状態の正確な把握を最も重視していたため、財務適用を選択し、公共下水道事業、農業集落排水事業の会計を一本化した。
- すべての業務を外部委託することで、担当職員の業務負担を軽減し、移行期間を削減することができた。

◆効果

- 財務諸表を公開することにより、地域住民においても詳細な経営成績及び財政状態の把握が容易となった。
- 基準外繰入金が過大であり、料金改定が必要であることが把握できるようになり、経費回収率が100％となる料金価格を算定することができた（現在の料金：年12千円/人→算定価格：年18千円/人）。
- 委託業者に複式簿記システム構築を委託したため、業務の効率化が図れ、将来にわたる通常業務や人事異動時の引継ぎ業務などの負担が軽減された。

● 取組のポイント

- 資産状況・経営状況等を正確に把握するため、委託費用は発生するが、全業務を外部委託した。
- すべての業務を外部委託することで、次の効果があった。

  ①固定資産台帳（管延長300km弱他）の短期間での正確な整備

  ②第三者視点からの経営に関する視点を含めた、経営戦略の作成

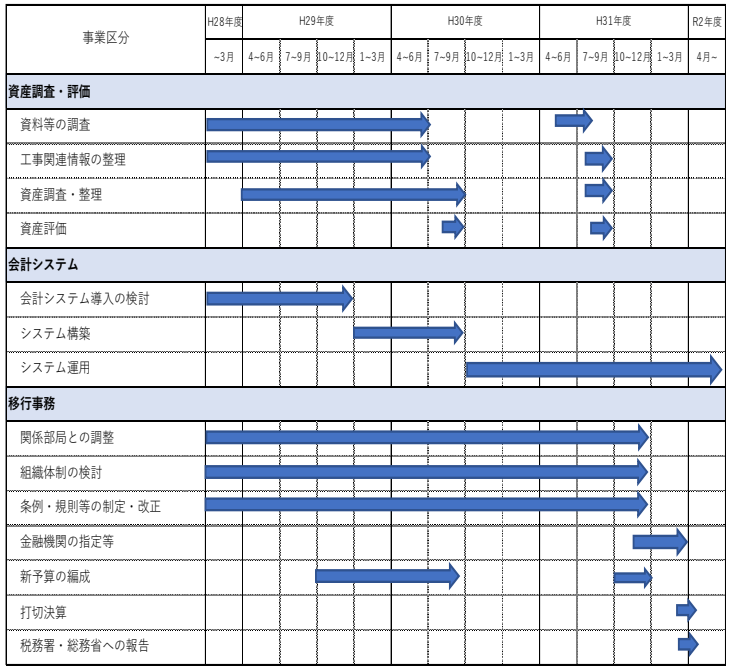
  ③全業務を委託することによる担当職員の事務負担の軽減及び大幅な移行期間の短縮

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　65,360人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　94.93km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　48,451人（令和3年度決算）

● 取組のスケジュール

下水道事業の法適用に係る概略工程表



● 今後の展望

- 基準外繰入金が過大なため、料金改定等による収入の確保を目指す。
- 料金改定や経営戦略の改定を踏まえ、経営基盤を強化する。